

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月13日	作成者名	香林 勉	評価者名	久川 理恵
-----	------------	------	------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・障害福祉課
分野	06 障がい者（児）福祉	関係課	
施策	27 障がい福祉環境の整備		
施策の目的	障がい者（児）の活動拠点を充実させ、障がい者（児）が地域で安心して生活できるようにします。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	障害者施設事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
就労系事業所通所者数	就労につながる就労の場への通所者数	人/年	234	154	224	224	224		
放課後等デイサービス利用者数	利用実績の増加や意向の高さによる利用者数増	人/年	120	85	98	113	113		
その他施策の取組事項に係る成果	通所施設については、将来的な施設の不足は見込まれるものの、現状では既存の施設で、利用者を賄うことができています。								

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	就労系事業所は、特別支援学校の卒業生の進路希望先としてのニーズが高い。一般就労も含め、就労の場の選択肢の幅を拡げてほしいという要望もあり、就労の場の確保や就労機会の拡大に向けた施策展開が求められている。 また、就労系事業所が抱える課題として、通所利用者の高齢化があげられる。作業所等から一般就労へつなげられるような工夫が必要である。 放課後等デイサービスについては、国の方針により、医療技術の進歩に伴い増えている医療的ケア児を含め、重度心身障害児の通所サービスの受入れ体制の整備が求められている。	対応策	通所施設については、特別支援学校卒業生の進路希望等を的確に把握しながら、施設の受入れ人数の拡大や通所利用者が次へのステップへ進めるような取組を検討するなど、今後も既存施設へ働きかけてく。 また、戸田市障害者就労支援センターと連携を図り、積極的に企業への働きかけを行うとともに、本人や家族に対し、就労に関する情報提供を行っていく。 放課後等デイサービスを含め障がい児福祉サービスについては、国の方針や戸田市障がい者総合計画の見込量に基づき進められるよう取り組んでいく。
----	--	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	平成28年度に開設した“にじの杜”の就労継続支援B型や放課後等デイサービス等の施設の増加により、通所利用者も増えている。こうした施策を取り巻く背景を踏まえ、いずれの数値も順調に推移しており、予定通りの進捗状況といえる。今後も、障がい者（児）の自立に向けた支援充実のため、関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。
<b>B</b>		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	通所施設の整備については、今後の需要を見極めながら慎重に対応していく。また、「戸田市障がい者総合計画」の見込量に沿い施設整備が進むように、人員・予算いずれも適正に対応しなければならない。加えて、補助金交付先における不適正な会計処理の発覚事例を踏まえ、今後は交付先からの報告書類審査に加え現地確認を行う必要がある。
<b>↑</b>		

## (評価者コメント)

障がい者（児）に係る環境の整備について、地域での生活を支援するための施設整備は、これまで第4期戸田市障がい福祉計画の見込量に沿って順調に進んできた。今後は平成30年度からスタートした「戸田市障がい者総合計画」に基づき、医療的ケア児等の新たなニーズや市全体の障がい者（児）のニーズの動向を的確に把握しながら、適切な施設環境の整備・充実に向けて、関係機関と連携のもと進めていく。
---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月13日	作成者名	香林 勉	評価者名	久川 理恵
-----	------------	------	------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費  うち 一般財源											
		事業コード		事業区分		H30決算額		評価結果						コメント													
						R1予算額		事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性				事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度								
		事業費	うち一般財源	人件費																							
02 障害者施設事業 (障害福祉課)																											
	01	障害者施設事業				219,501											福祉作業所の適切な運営への工夫が必要である。	0									
		01	03	01	03	02	01	1	○	B	B	B	B	1	○	B		0									
		福祉作業所等の運営委託・助成等				200,393																					
						200,393																					
						198,462																					
						4,776																					
01 心身障害者福祉センター管理運営費 (障害福祉課)																											
	01	心身障害者福祉センター管理運営費				51,706											施設利用の促進に努める。	0									
		01	03	01	08	01	01	1		B	B	B	B	1	B	0											
		各種講座の開設や社会適応訓練室、料理実習室等の貸し				46,512																					
						46,512																					0
						43,623																					
						2,047																					
計 (千円)																											
						事業費	271,207	R1予算額	246,905	R2計画額	246,905	R2予算額	0														
						うち一般財源	266,744		242,085		242,085		0														

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和2年度で終了    8 令和元年度で終了    9 平成30年度で終了